

図書館ミニ展示「2011.3.11 震災から3年」

東日本大震災（2011年3月11日）より3年が経ちます。図書館ではその間、積層書庫への図書落下防止器具の設置、本棚への図書落下防止テープの取り付け、4～9階および積層書庫の耐震工事を実施しました。資料としても震災に関するものを随時、選書しています。今回の展示ではそうした資料の一部を紹介します。

2014/3/7

請求記号	書名	著者名	出版年	出版社
369.3//Y45	自然災害ハンドブック ：災害時のパニックを避け、大切な命を守るために!	山と溪谷社	2011.5	山と溪谷社
369.31//H69	住まいを再生する：東北復興の政策・制度論	平山 洋介	2013.11	岩波書店
369.31//H75	学者にできることは何か：日本学術会議のとりくみを通して	広渡 清吾	2012.5	岩波書店
369.31//I75	遺体：震災、津波の果てに	石井 光太	2011.10	新潮社
369.31//I78	3・11と私：東日本大震災で考えたこと	石牟礼 道子	2012.8	藤原書店
369.31//Mi73	東日本大震災教職員が語る子ども・いのち・未来 ：あの日、学校はどう判断し、行動したか	宮城県教職員組合	2012.1	明石書店
369.31//N17	共震ドクター：阪神、そして東北	長尾 和宏	2011.7	ロハスメディア
369.31//N21	記憶と記録：311まるごとアーカイブス	長坂 俊成	2012.4	岩波書店
369.31//N77	東日本大震災、その時企業は	日本経済新聞社	2011.7	日本経済新聞出版社
369.31//Sa47	東日本大震災とNPO・ボランティア ：市民の力はいかにして立ち現れたか	桜井 政成	2013.9	ミネルヴァ書房
369.31//Sh69//10	学生のパワーを被災地へ!：「早稲田型ボランティア」の舞台裏	岩井 雪乃	2012.2	早稲田大学出版部
369.31//Sh69//28	震災後に読む文学	堀内 正規	2013.3	早稲田大学出版部
369.31//Sh69//9	東日本大震災と憲法：この国への直言	水島 朝穂	2012.2	早稲田大学出版部
369.31//Sh95	ともしび：被災者から見た被災地の記録	シュープレス株式会社	2011.8	小学館
369.31//Ta95	「脇役」たちがつないだ震災医療：ドキュメント・東日本大震災	辰濃 哲郎	2011.6	医薬経済社
369.31//To25	聞き書き震災体験：東北大学90人が語る3.11	東北大学震災体験記録プロジェクト	2012.3	新泉社
369.36//U55	原発難民：放射能雲の下で何が起きたのか	烏賀陽 弘道	2012.11	PHP研究所

震災に関する図書は、3階の「369.31」の棚にまとまっています。

図書館の震災発生（2011.3.11）から復旧（館内耐震工事終了2013.3末）まで

2011年	
3月11日 (金) 14時46分	「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」発生 震源：三陸沖 マグニチュード9.0 震度：7＝宮城県栗原市宮城県 5弱＝坂戸市〔ほか〕（参考：気象庁HP） ◇図書館入館者数（当日総数）186名。負傷者0名。 ◇利用者を館外へ避難誘導、ひざ掛けを配布。 ◇職員も一時館外避難。
同日夕刻 同日夜	◆図書館を臨時閉館。 政府が福島県の一部に原子力災害対策特別措置法に基づく避難指示。
3月14日	◇通勤可能職員により状況確認。※半数以上の職員は計画停電による電車不通で来館できず。
3月16日	◇野球部学生13名による復旧補助。 （シラバスルーム等の落下図書整理）
3月18日	◇職員全員が通勤（震災後初）。
同日以降	◇本格復旧作業開始。 ◇教職員（図書館以外）による復旧補助（落下図書整理）
3月28日 ～29日	◇学生アルバイト68名×2日間による復旧補助。 （積層書庫の落下図書整理）
4月1日	政府が震災の名称を「東日本大震災」に閣議決定。
4月14日	◆図書館 部分／短縮開館。 （利用場所：1～3階。開館時間：9～平日19時）
4月20日	入学式
4月22日	授業開始 ◇「図書館災害復旧対策委員会」設置
6月27日	◆4～6階を開室（～7月末の前期試験期間）。
8月9日	◇積層書庫への落下防止器具を取り付け完了。
12月1日	◆開館時間を通常に戻す。（9～平日21時）。
2012年	
1月10日	◇4～6階を開室（～2月10日の後期試験期間）。
1月25日	◆9階を開室（～2月10日の後期試験期間）。
2月16日	◇2、3階の書棚に図書落下防止テープを取り付け。
2012～2013年	
11月29日 ～3月末	◇4～9階および書庫の耐震工事（実施終了）

臨時閉館
から数えて

4
5
6階開室まで
図書館開館まで

9階開室まで

34日間

108日間

265日間

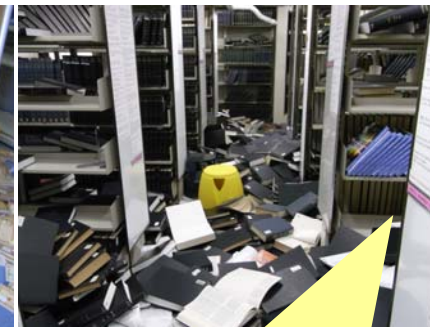
302日間

全階で資料が落下。
書架(棚)の破損はなし。



地震直後は漏水なども発生

3階シラバスルーム



復旧させた図書が、余震で落ちそうになることも。

地震の時は棚から離れること！

落下資料は、図書館職員全員で、手作業により復旧。一冊ずつ正しい配架順に戻していきました。

とりわけ、積層書庫は足の踏み場がないほど資料が落下しました。

現在は資料落下防止器具を設置

学生アルバイトの方々(延べ149名)により、作業が大幅に進みました。ありがとうございました。



地震が発生した場合には

- ①すぐに本棚から離れる。
- ②身の安全を確保。
- ③館内放送・誘導に従う。
- ④避難場所はグラウンド